

レジメン名

Sacituzumab govitecan

出典 トロデルビ適正使用ガイド2024年11月改訂
ASCENT trial(Bardia SA, et al. NEJM 2021)

実施部署区分

☒入院 ☐外来 ☐処置

対象疾患

乳癌

☒進行・再発
☐補助療法(術前・術後)
☐
☐

投与減量の基準	
ANC	・FN、500/mm ³ 未満が7日間以上、又は臨床的に必要 ・投与予定日に1,000/mm ³ 未満であり1,500/mm ³ に回復するまで2～3週間要する
上記以外の血液毒性	・投与予定日にGrade 3～4であり、Grade 1以下に回復するまで2～3週間の投与延期を要する場合
infusion reaction 以外の非血液毒性	以下のいずれかの場合 ・Grade 4 ・Grade 3かつコントロール困難な悪心、嘔吐又は下痢 ・Grade 3かつ適切な医学的管理にもかかわらず48時間を超えて持続する ・投与予定日にGrade 3であり、Grade 1以下に回復するまで2～3週間の投与延期を要する
↑ 医師による評価	
infusion reaction	Grade1～2:減速又は中断

1クール期間 21日 総クール数 PDまで
(次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準			
ANC	1,500/mm ³ 未満(day1) 1,000/mm ³ 未満(day8)	PLT Hb	7.5万/mm ³ 未満 9 g/dL未満
下痢	Grade 3以上		
その他	悪心・嘔吐: Grade 4、Grade 3かつコントロール困難な悪心・嘔吐、2～3週間の投与延期を要する Infusion reaction: Grade4、Grade2～3かつ適切な治療にもかかわらず6時間以内に回復しない		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
サシツズマブ ゴビテカン (トロデルビ)	10mg/kg	生食250mL※1	3時間※2	day1、8
※1: 本剤の濃度範囲が1.1mg/mL～3.4mg/mLとなるよう輸液バッグ(ポリ塩化ビニル製、ポリオレフィン製[ポリプロピレン製、ポリエチレン製]またはエチレン酢酸ビニル製)から生理食塩液を抜き取ること				
※2: 初回投与の忍容性良好であれば、2回目以降1～2時間に短縮可能				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation ン、溶解液まで含む)
day1 ①アセトアミノフェン600mg内服(Infusion reaction予防) ②生食50mL(ルート確保用) ③パロノセトロン0.75mgバッグ+デキサート9.9mg +ホウライミン5mg+ファモチジン20mg (30分) ④サシツズマブゴビテカン(トロデルビ)10mg/kg+生理食塩液 250mL(3時間) ※1: 本剤の濃度範囲が1.1mg/mL～3.4mg/mLとなるよう輸液バッグ(ポリ塩化ビニル製、ポリオレフィン製[ポリプロピレン製、ポリエチレン製]またはエチレン酢酸ビニル製)から生理食塩液を抜き取ること ※2: 初回投与の忍容性良好であれば、2回目以降1～2時間に短縮可能 ⑤生食50mL(30分/経過観察用)